

山麓探偵団通信

1,2月号

平成23年1,2月合併号 (2011-1,2)

明けましておめでとうございます。

平成十年(2000年)一月から始めた山麓探偵団活動は、丸十二年が過ぎ、そしてついに200回を超えました。

この一年間も、伊藤浩美氏、木村修氏、木村奈保子氏、戸高雅史氏、林正美氏に団長をお願いし、それぞれの仕事を通して、あるいは異なった視点による、山麓を探っていただきました。

今年も楽しくご参加ください！

◆平成二二年の活動記録

- 一月 初春の表富士
- 二月 積雪40センチの中で、青空レストラン開店
- 三月 フェニクス短大裏・調整池一周探索
- 四月 雪のために、両日とも中止
- 五月 須走まぼろしの滝
- 六月 西丹沢一泊野宿
- 七月 中の茶屋付近の昆虫観察
- 九月 双子山散策
- 十月 スバルライン二合目から精進登山道口・旧木炭バス道
- 十一月 テントウムシを描く
- 十二月 西丹沢源流から高指山

今回は、一月と二月の合併号として、二か月分のご案内をします。どうか、日程などお間違えのないように、ご覧下さい。

まずは、昨年十二月十一日の感想文を掲載します。

◆参加者の感想

十二月にしては暖かくてまぶしい光に満ちた日。山中湖から西丹沢源流へ。そして高指山へと登りつめていく。

登山道ではない送電線点検のための急な山道は、落ち葉に覆われてクツションのようにふかふかで足に気持ちよく、でも滑りやすくて足を取られないかドキドキ。一歩一歩重心を確かめながら踏みしめて歩く。

時折吹く強い風も、谷の沢までは届かず、沢の真ん中にデンと座った流木の大きな根っこの上に寝転び、沢の水音・流れる雲・木々の揺れる音・ひんやりした空気・湿った土の匂い、体いっぱい味わう。焚き火の料理もおいしかった！身と心と芯から開放されていく。開放された体に、心は素直に反応する。自分の欲するところに自然と足は進んでいく。足を進めさせずればどこかに繋がる。高指山の山頂は光いっぱい。寝転んだらそのまま眠り込んでしまおう。

ふと望めば飛び込める大自然がすぐそこにあり、ありのままに居られる仲間がそこに居て、何て幸せなんだろう。感謝と気づきがたくさんたくさんな一日。ありがとうございました。(S・O)



↑高指山からの眺望



↑森の中で



←おいしい一時

◆一月の探偵団活動のご案内

映像力メラマンの伊藤浩美さんを団長に、忍野の杓子山を案内していただきます。

- 一月二十日(木) 二十二日(土)
- 集合 午前10時
- 場所 富士吉田の道の駅
- 参加費 2300円

・持ち物 昼食・雨具・マイカッ
プ・防寒着・双眼鏡・雪の場合、所持している人はスノウシューなど

◆二月の探偵団活動のご案内

恒例の青空レストランペンションのシエフによるランチを、青空の下で賞味、ソリやスノウシューで遊びましょう。

- 二月 十七日(木) 十九日(土)
 - 集合 午前10時
 - 場所 p・まりも
 - 参加費 2300円
 - 持ち物 マイカップ・防寒着・敷物・任意でスノウシュー・ソリなどの雪上遊具
- *この回は、お弁当は不要です。

○申し込み・問い合わせはいつでも三日前までにお願います。なお、あみんは冬眠中につき、それぞれの申し込みを、P・まりもにメールか、お電話をくださるように、お願います。電話番号は、0555-65-6046です。

発行 山麓探偵団 事務局
山梨県山中湖村平野一六九八
電話 〇五五五・六五・七〇二三